

山科教会ニュース

2023年 7月 第389号

私たちは神様に養われ、見守られ、許されること、他の人を許すことができ、助けられ、そして、悪や誘惑から救われるよう祈ります。

司祭 グエン・バン・ナン

主の祈り

(コリント11・1-11; マタイ6・7-15)

ご存知のように、イエス様は弟子たちに一つのお祈りしか教えられませんでした。それが「主の祈り」です。では、イエス様は何を祈るか、また、どうお祈りをすれば良いかを教えてくださいましたか。今から、御一緒に答えを探しましょう。

「御名が聖とされますように」とは、何を願っているのでしょうか。この質問に答える前に、まず、「御名」とは何でしょうか。ヨハネが私たちの代わりに教えてくださいました。「神は愛です」と(ヨハネ4・16)。私たちが神様に祈り願うことは、神様に倣い、愛する人となり、神や隣人を愛せますように、また、私たちを通して、神の愛が広まりますようにということです。そうすれば、皆聖なる人になれるはずです。つまり、聖なる人になるために、神様の愛の掟を行えるよう願います。

同じように、御国とは、平和な国、正義の国です。神様は平和や正義で私たちを治められているのです。イザヤがイエス様に対して言われたように、「独り子が私たちのために生まれました。彼は、驚くべき指導者、平和の君、ダビデの王座とその王国に権威は増し平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって今もそしてとこしえに、立てられ支えられる」と(イザヤ9・4-6)。そして、「御国が来ますように」と祈りながら、私たちは神の平和や正義が私たちの心や生活を治めて下さるよう神に願っています。

次に、私たちは「御心が天に行われる通り地にも行われますように」と祈ります。ご存知のように、「御心」とは神の愛と一つになることです。イエス様は受難を受けられる前に、御父に祈られました。「私たちのように、彼らも一つとなるためです。私が彼らの内におり、あなたがわたしの内におられるのは、彼らが完全に一つになるためです。こうして、あなたが私をお遣わしになったこと、また、私を愛しておられたように、彼らをも愛しておられたことを、世が知るようになります」(ヨハネ17・11、23)。

すべてのものが三位一体のように神の愛と一つになることはキリスト者の永遠の目的です。最初から罪を犯したために、人は神様や兄弟姉妹から離れたからです。そして、人がご自分の愛と一つになるために、神様は御独り子を世に遣わされ、人間を救われました。つまり、「御心が天に行われる通り地にも行われますように」と祈ることを通して、私たちは奉仕し、教会、国、家庭、皆が神様と一つになるよう願っています。「主の祈り」のここまでで、私たちは、つまり、神様にキリスト者の使命、すなわち、預言職、祭司職、王職を行うことが出来るよう祈っています。

私たちは神様に養われ、見守られ、許されること、他の人を許すことができ、助けられ、そして、悪や誘惑から救われるよう祈ります。アーメン。

司祭 グエン・バン・ナン

6月のトピックス

●例会を再開しました

コロナ禍により長期にわたりお休みしていました「例会」を、6月から再開しました。

6月4日(日)、再開後1回目の例会を行い、前月の評議会報告と質疑応答、皆様からのご意見を伺いました。途中からご出席の方を含め、30名ほどの方にご出席いただきました。

従来通り、第一日曜日の集会祭儀後に開催しますので、皆様ご出席ください。



●ナン神父様による『聖書を学ぶ会』が開講されました

6月6日(火)から、ナン神父様による『聖書を学ぶ会』が始まりました。この日は、『三位一体の主日』(6月4日)の朗読箇所、解説を輪読し、分かち合いを行いました。ナン神父様から「洗礼の意味」、「十字架を切る意味」等心に刻まれるお話をいただきました。

『聖書を学ぶ会』は、毎週火曜日、週日ミサの後に開講しますので、ご都合のつく方はご参加ください。

尚、この日の週日ミサは、ナン神父様の山科教会での最初のミサとなりました。ナン神父様には、火曜日の週日ミサと第三日曜日の主日ミサをご担当いただきます。ナン神父様は、洛東ブロックだけでなく福知山、草津、大和高田の各教会でも、ベトナム語ミサを捧げられます。



●堅信証明書の授与

6月25日(日)、主日ミサの中で、西平 琉暁(るちあ)さんに堅信証明書が授与されました。

菅原神父様から、堅信証明書と教会からの記念品を贈り、皆様からも暖かいお祝いをいただきました。

堅信名 ルチア・ローザは、敬愛するおばあ様から頂いたとのこと。

ルチア・ローザ西平 琉暁さん、おめでとうございます。



『評議会』からのお知らせ

<洛東ブロック司牧チームからのお知らせ>

☆聖体拝領の仕方が変わりました

これまで、コロナ禍の対応で、奉仕者の呼びかけに全員で『アーメン』と応えていましたが、奉仕者が一人一人に『キリストの御からだ』と言われますので、『アーメン』と応えて、手で拝領してください。

「新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う、山科教会の対応について」を掲示していますので、ご確認とご協力をお願いいたします。

<役員会、評議会からのお知らせ>

☆日曜学校練成会

7月29日(土)、30日(日)に、日曜学校練成会が行われます。4年ぶりに泊りでの練成会となります。

29日(土)には、ナン神父様や山科教会に集う外国の方を交えバーベキューを計画し、国際交流の実体験となればと考えています。

30日(日)のミサは、子供が奉仕するミサとし、ミサ後 菅原神父様のお話を予定しています。

☆2023年度洛東ブロック宣教司牧計画について

2023年度洛東ブロック宣教司牧計画が示され、その具体的な実行計画を各部会で検討いただいています。

「中高生・青年の集い」は、10月29日(日)に山科教会で行うことが決まり、「いのち・平和・環境の集い」、「国際交流」、「平和旬間行事」、「防災の日」についても、計画案が示されてきました。

決定次第、皆様にお知らせしますので、ご参加、ご協力をお願いいたします。

★ 山科教会からの「お知らせ」は、毎週日曜日に更新されます。聖堂内のホワイトボードに掲示すると共に聖堂後方のテーブルにも置いてありますのでお持ち帰りください。

最新の情報は山科教会ホームページ(<http://www.cyamach.sakura.ne.jp>)をご確認ください。

また、京都教区のホームページ(<https://kyotodiocese.wixsite.com/website-1>)もご参照ください。

2023年7月の予定

日	曜日	教会暦	行事予定	※都合により日程及び時間の変更もあります
1	土			使徒的勧告『キリストは生きている』 読書会 15:00
2	日	年間第13主日	集会祭儀 9:00 シスター テッシェー	例会、日曜学校 ミサ後
3	月			
4	火		週日ミサ 9:30 ナン神父様	聖書を学ぶ会 ミサ後
5	水			
6	木			
7	金		週日ミサ 9:30 菅原神父様	レクチオ・ディヴィナ ミサ後
8	土			
9	日	年間第14主日	主日ミサ 9:00 瀧野神父様	日曜学校 ミサ後
10	月			
11	火		週日ミサ 9:30 ナン神父様	聖書を学ぶ会 ミサ後
12	水			
13	木			
14	金		週日ミサ 9:30 菅原神父様	レクチオ・ディヴィナ ミサ後
15	土			役員会 15:00
16	日	年間第15主日	主日ミサ 9:00 ナン神父様	評議会、日曜学校 ミサ後
17	月			
18	火		週日ミサ 9:30 ナン神父様	聖書を学ぶ会 ミサ後
19	水			
20	木			
21	金		週日ミサ 9:30 菅原神父様	レクチオ・ディヴィナ ミサ後
22	土			
23	日	年間第16主日	主日ミサ 9:00 菅原神父様	全員清掃、日曜学校 ミサ後
24	月			
25	火		週日ミサ 9:30 ナン神父様	聖書を学ぶ会 ミサ後
26	水			
27	木			
28	金		週日ミサ 9:30 菅原神父様	レクチオ・ディヴィナ ミサ後
29	土			日曜学校練成会
30	日	年間第17主日	主日ミサ 9:00 菅原神父様	日曜学校練成会
31	月			

◆主日のミサの義務が、「新型コロナウイルス感染症についての京都教区の措置(その12)」により、「主日ミサにあずかる義務は、体調に関する事情のある方には、引続いて免除する」に改めています。

祖父母と高齢者のための世界祈願日

7月23日は、『祖父母と高齢者のための世界祈願日』です。
この祈願日は2021年、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの最中に制定されました。この感染症により多くの高齢者が孤独のうちに置かれ、だれにも看取られることなく亡くなりました。その悲劇は、苦しむ人に寄り添うというキリスト者の召命について、あらためて考えるよう促します。

この祈願日の教皇メッセージは、とりわけ高齢者自身へと向けられます。教皇は、記憶を保ち信仰を伝えるという高齢者の使命を繰り返し説いています。高齢者には、社会において担うべき役割があるのです。

カトリック教会 情報ハンドブックより

発行責任者

河原町・伏見・山科・桃山共同宣教司牧
洛東ブロック司牧チーム

編集：カトリック山科教会 広報部

住所：〒607-8415

京都市山科区御陵中筋町3

TEL：075-581-0719

FAX：075-581-0760

URL：<http://www.cyamach.sakura.ne.jp>